



## 冬休み中にやっておくこと!!

出願からが入試の始まりです! 自分のことを自分でできる力を!!

### [学習面]

・ **夜型の人は朝型になるように生活パターンを切り替える。**

→試験があるのは午前中がほとんどです。

・ **過去問に取り組み、出題パターンに慣れる。**

→出題傾向を知ること大切ですし、出題パターンに慣れておかないと時間配分を間違えて、できる問題も時間が足りなくてできないということにもなりかねません。

・ **公立高校第一志望の人は、毎日5教科を勉強する。**

→目先のことにとらわれない。最初が第2志望の私立の試験だからといって、3教科しか勉強しないということにならないようにしましょう。

→社会、理科は今から新たに覚えたことがもしかすると試験に出るかもしれません。自分の苦手な分野・覚えていない箇所をできるだけ少なくしていくことが安定した得点につながります。

・ **面接の準備をしておく。**

→以前配布した面接プリント(質問集)をよく見て、答えられるようにしておく。

→校長・教頭面接練習の時のコメントや評価を見て、繰り返し練習しておく。(鏡を見たり、家族と)

→特に公立第一希望で面接を実施する学校や、私立単願の人は「志望動機」を具体的に答えられるようにする。

・ **小論文(作文)の準備をしておく。**

→試験に「小論文」がある学校があります。過去の傾向を調べ、例えば50分間で600字など、実際の試験と同じように自宅でも作文練習しておきましょう。



### [私立受験に必要な書類について] ※全てそろえるには1日以上かかります。

・ インターネット出願が始まっている学校については、冬休み中に済ませ、写真のアップロードや貼り付け、書類の印刷をして、大切なファイルなどに保管しておきます。

・ 受験料の振込、返信封筒に貼る用など必要な切手の購入なども冬休み中にしておいてください。

受験料の振込については、期間を指定している学校もありますから、その期間を守って振込を行うようにして下さい。

・ 学校で作成するもの(推薦書や公立の様式ではない高校所定の調査書など)は必ず年内に担任に提出して下さい。すぐに書けるものではありません。

冬休みに入ってから入手する書類を学校に持参する日時は、事前に担任とよく相談してください。

### [注意]

1. 私立の単願推薦(併願推薦含む)受験者は早いところで1/4から出願開始となります。必ず、冬休み中に全ての書類・振込・切手の購入・写真の貼り付けなどを済ませておいてください。1/9の始業式の日「通知書の受領証」と交換で、必要な高校の調査書・推薦書等の書類を渡す予定です。(出願の早い高校の受験者[12/22までに受け取り日時を担任へ伝えておくこと]は12/25, 26の9:00~12:00に「通知書の受領証」を持参し、登校してください。(詳細は前号参照))
2. 出願が郵送の場合は、担任が作成した調査書や推薦書等(各学校の受験要項参照)を入れて不備のないように、各自で郵送(簡易書留で)して下さい。また、出願を直接高校へ持参して行う場合は、高校へ行く日時を必ず事前に担任に報告して下さい。